

第10回「学びの共同体」研究大会  
2014年7月26日（土）

## 私の授業の見方： すべての子どもの 「質の高い学び」のために

東京大学 大学総合教育研究センター  
大学発教育支援コンソーシアム推進機構 特任助教  
杉山二季（すぎやま・ふたき）

1

## 「何のための学び合いの授業？」 「子どもの幸せのため！」

- ▶ 学ぶことは、それ自体でその子に幸せを生み出すもの
- ▶ 学びは、将来にわたってその子の幸せを守るもの
- ▶ そして、学びとは、活動と協同の中で深まっていくもの

2

## 大原則は 「誰ひとり置き去りにしない」

- ▶ この授業の中で、不幸な時間を過ごしている子どもはいないだろうか？
- ▶ 考えるための足場も材料もなく、誰からもケアされずに、学びから遠ざかっている子どもはいないだろうか？

3

## それなのに、 「質の高い学び」なの？

「課題を高くすれば、もっと置いて行かれる子どもが増えるのでは・・・」

「やっぱりこの子たちには、低めの課題でないと無理・・・」

「質の高い学びは、基礎学力のある子たちに任せて・・・」

本当にそうだろうか! ?

4

## 授業の中で引き起こしたい学び



子どもたちの今日の学びのスタートは、  
本当に多様なところから始まる



5

## 授業の中で引き起こしたい学び

一人ひとりの子どもが、  
考えを前に進めることができた



この単元・  
教科の本質



つまり、一人ひとりの子どもが、授業前よりも、  
「この単元・教科の本質」に向かって前進した

6

## 授業の中で引き起こしたい学び

一人ひとりの分かり方はそれぞれ多様



この単元・  
教科の本質



しかし、異なる表現であっても、  
それぞれがある水準以上の理解に達している

7

## 授業の中で引き起こしたい学び

▶ 授業の中で私たちが保障したいのは、  
すべて「質の高い学び」

それは・・・

- ▶ 多様である、と同時に
- ▶ それぞれが前に進める（単元や教科の本質に近づいていける）学び



8

## ある小学校の授業から・・・

小学校2年生 算数 かけ算（1）

○このトマトを、同じ数ずつふくろにいれます。どんな入れ方があるでしょうか。

9

## すべての子どもの 「質の高い学び」のために

- ▶ 教師が「この1時間の学び」の**ヴィジョン**を明確に持つ
  - ▶ 子どもがどういうことが言えるようになることを、この授業で目指したいのか
  - ▶ それぞれの子どものはじめに立っている多様な場所からの「前進」のイメージをもつ
- ▶ そこから、その前進を引き起こす仕掛け（課題設定の仕方・活動のなかみ）を考えていく

10